

海外カジノ 視察の意向 9月

大阪市の吉村洋文市長は28日、9月にシンガポールを訪問し、カジノを中核とした統合型リゾート（IR）を視察する考えを示しました。市役所での定例会見で話しました。

大阪市長

吉村市長は、9月1～8日の日程でシンガポールとベトナムのホーチミン市を訪問する予定。シンガポールでは、カジノ誘致を強く主張している関西経済同友会などの経済団体とともに都市開発の事例などの視察を

行うとしています。

吉村市長は「大阪は今、夢洲（ゆめしま）でいろんなまちづくりの構想を練っている最中」としたうえで、「あの夢洲というエリアをどう発展させていくかという意味では、シンガポールのIRは大きな参考になると思っているので、ぜひ見たい」と述べました。

さらに「アジアで最先端で行われていることをできるだけ早い段階で役所としても吸収して、大阪の成長に資することをしたい」などと主張。カジノ誘致を積極的に推進する姿勢を改めて示しました。

現在、日本には530万人を超えるギャンブル依存症患者がいます。